

## 令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福井県

行事名称	第67回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	令和3年1月24日(日) 午前8時30分～10時頃まで
実施場所	越前市大虫町21-28 大虫神社
主催者	南越消防組合中消防署、東消防署・南越消防組合越前市消防団

## ■実施内容

## 訓練の想定

福井県では冬型の気圧配置と併せ、不安定な気圧の影響で北よりの風が次第に強くなり、県内に強風・波浪・雷注意報と竜巻注意情報が発令中。大気の状態が非常に不安定で、雷が発生し、大虫神社本殿に落雷、火災が発生した。本殿に安置されている市指定文化財のご神体を救出する。

## 訓練の内容

宮総代が火災を発見、通報し、連絡を受けた区長が自警消防隊に知らせる。自警消防隊は小型動力ポンプで消火活動にあたる。同時に消防署へ通報され、ポンプ車、梯子車の出動、ドレンチャーの展開により延焼を防ぎ、文化財の搬出にあたる、警防訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

大虫神社総代・区長ほか(3名): 119番通報、初期消火、重要物品の搬出

大虫町地区住民(5名): 初期消火、参拝者の避難誘導

自警消防団(5名): 放水訓練

東消防署(9名): 全体統括、放水訓練、講評

越前市消防団(19名): 大虫分団による延焼防禦、交通整理

越前市教育委員会(2名): 現場立会い

## 特に工夫した点

地元の自警消防団による初期消火→消防署による梯子車・ポンプ車の出動、ドレンチャーを展開して延焼を防ぐ消火訓練を実施した。大虫賀茂神社周辺は道路幅が狭く、かつ重要文化財の神像、県指定文化財を含む貴重な文化財があるため、文化財の救出をおこなう訓練を実施した。また、ドレンチャーによって水幕をつくり延焼を防ぐ訓練を実施した。

## 問題点・課題

今年度はコロナ下における訓練であり、また積雪のある中での実施となった。地域住民の意識は高く、積極的な参加がみられた。

## その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっている。周知をはかっていくことが重要である。

## 訓練風景





水幕の展開



文化財の救出



講評